

個人番号（マイナンバー）制度について

松野 久郎



〔質問〕市民への配達状況等について伺う。

〔答弁〕【市民課長】平成27年12月7日現在の配達総数は、1万4千66通である。

そのうち市役所に戻ってきたものは、宛てどころなしが284通、受取拒否が124通、郵便局保管で戻ってきたものが858通、総数で1千266通である。

〔質問〕具体的なセキュリティ対策について伺う。

〔答弁〕【市長】担当する職員は、静脈等による生体認証、ICカードやパスワードでの認証などにより、個人情報システムへのアクセスを制限している。

各種書類については、各所属で管理責任者を

定め、管理を徹底している。

◎白石市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

〔質問〕地方創生先行型の「通常事業分野」での交付対象事業はあったのか伺う。

〔答弁〕【地方創生対策室長】国の予算年度で繰越ができない事情もあり、申請は見送った。

〔質問〕具体的な事業に取り組む自治体多くの交付金がついた。

〔答弁〕【地方創生対策室長】すでに多くの継続事業を行っているため、特に強調して申請はしていない。

今後も、継続事業・先行事業・新規事業にあらゆる補助金・交付金を活用し、事業を進めていきたい。

〔質問〕映画等のロケ地を誘致するフィルム

コミッション事業について、現状と今後の取り組みについて伺う。

〔答弁〕【市長】現在まで映画やテレビドラマで9件の実績があり、着実に成果を上げている。今後、スタッフの人数や待遇等について、しっかりと精査しながら検討していく。

◎白石市創生総合戦略の人口ビジョンについて

〔質問〕現在の待機児童数について伺う。

〔答弁〕【子ども家庭課長】平成27年12月1日現在、ゼロ歳児10人、4歳児1人の計11人である。

〔質問〕待機児童をゼロにし、「子育ての町白石」をアピールするには、どのような施策が必要か伺う。

〔答弁〕【市長】育児休業制度の奨励やゼロ歳児受入枠の拡充、認可外保育園への後方支援など、市の支援事業計画に基づく事業の実施であると考える。

幼稚園・保育園事情について

大野 栄光



安倍総理は、新アベノミクスとして新3本の矢を発表し、1億総活躍社会を提唱した。その中で、生活の豊かさの実感や充実した子育て支援を行う方針が示された。しかし、正規の仕事で子育て中の方は、ゆとりや豊かさを実感するには至らないと言っている。

そこで、次の支援を求めたいが所見を伺う。

〔質問〕働く保護者のため、朝の幼稚園児の引き受け時間を30分から1時間ほど早くできないものか伺う。

〔答弁〕【教育長】幼稚園は、保育園と異なる学校教育法のもとで行われている教育の場である。その保育時間に合わせる送り迎えができる家庭の幼児を入園させる施設であると位置づけているため、その予定はない。

〔質問〕入園した当時と家庭事情が変わり、働きに出るようになった保護者を支援するため、朝の引き受け時間を早めることはできないものか伺う。

〔答弁〕【教育長】子どもが登園する様子を見て、子どもの1日の状態を判断して園の保育に入っている。そのため、登園の時間を区切っていることも、教育の一環として考えていた。〔質問〕お産や病気等の諸事情による長期欠席した場合、幼稚園の保育料を日割り計算などで支払うことはできないものか伺う。

なっている。そのため、日割り計算することは考えていない。

ただし、例えばお産などで1カ月すべてを欠席する場合は、事前に休園届を提出し、承認された場合、保育料をその月に関して徴収しないこととしている。

市の幼稚園保育料は、民間と比較しても、非常に安い額となっているのでご理解いただきたい。

〔質問〕蔵王町幼稚園条例を見ると、延長保育を行っているが、この点について所見を伺う。

〔答弁〕【教育長】蔵王町の状況は承知している。その状況は保育の領域だと考える。

幼稚園が園児を預かる意味は、「幼稚園教育」であると考えられる。

幼稚園に入園する保護者の方々は、幼稚園の時間帯を理解して入園届を出しているもの

と考える。